



**株式会社大阪防水建設社**

<https://www.obcc.co.jp/> E-mail : [info@obcc.co.jp](mailto:info@obcc.co.jp)

本 社 〒543-0016 大阪府大阪市天王寺区顔差町7-6 TEL.06-6762-5621(代) FAX.06-6761-9291

東 京 支 店 〒135-0042 東京都江東区木場5-8-40 東京パークサイドビル10階  
TEL.03-5621-6071(代) FAX.03-5621-6072

名 古 屋 支 店 〒462-0861 愛知県名古屋市中区通1-10-1  
TEL.052-918-8601(代) FAX.052-919-0501

大 阪 支 店 〒543-0016 大阪府大阪市天王寺区顔差町7-6  
TEL.06-6762-5628(代) FAX.06-6761-8440

九 州 支 店 〒812-0863 福岡県福岡市博多区金の隈3-16-66  
TEL.092-504-7270(代) FAX.092-504-7271

仙 台 営 業 所 〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町7-32 勾当台ハイツ607  
TEL.022-212-6977 FAX.022-225-7375

奈 良 営 業 所 〒636-0932 奈良県生駒郡平群町吉新3-4-13  
TEL.0745-43-7034 FAX.0745-43-7035

技術開発センター関東 〒289-1125 千葉県八街市上砂字大清水396-1  
TEL.043-445-3405 FAX.043-445-3405

技術開発センター関西 〒636-0932 奈良県生駒郡平群町吉新3-4-13  
TEL.0745-43-7034 FAX.0745-43-7035

中央創造センター東条 〒673-1324 兵庫県加東市新定275-118  
関東資機材センター西船橋 〒273-0025 千葉県船橋市印内町644  
関東資機材センター原木 〒272-0004 千葉県市川市原木2053

中部資機材センター平田 〒452-0839 愛知県名古屋市中区見寄町10  
中部資材センター春日井 〒487-0025 愛知県春日井市出川町字前平2169-31  
関西資機材センター高石 〒592-0001 大阪府高石市高砂3-25-2  
九州資機材センター金の隈 〒812-0863 福岡県福岡市博多区金の隈3-16-66



**株式会社大阪防水建設社**

安心安全な社会環境づくりに、確かな専門技術で応えます。



代表取締役社長  
宇賀 良太

### お客様の信頼にお応えする。

私ども大阪防水建設社は、関西における土木防水の草分けとして昭和8年に創業させて頂きました。

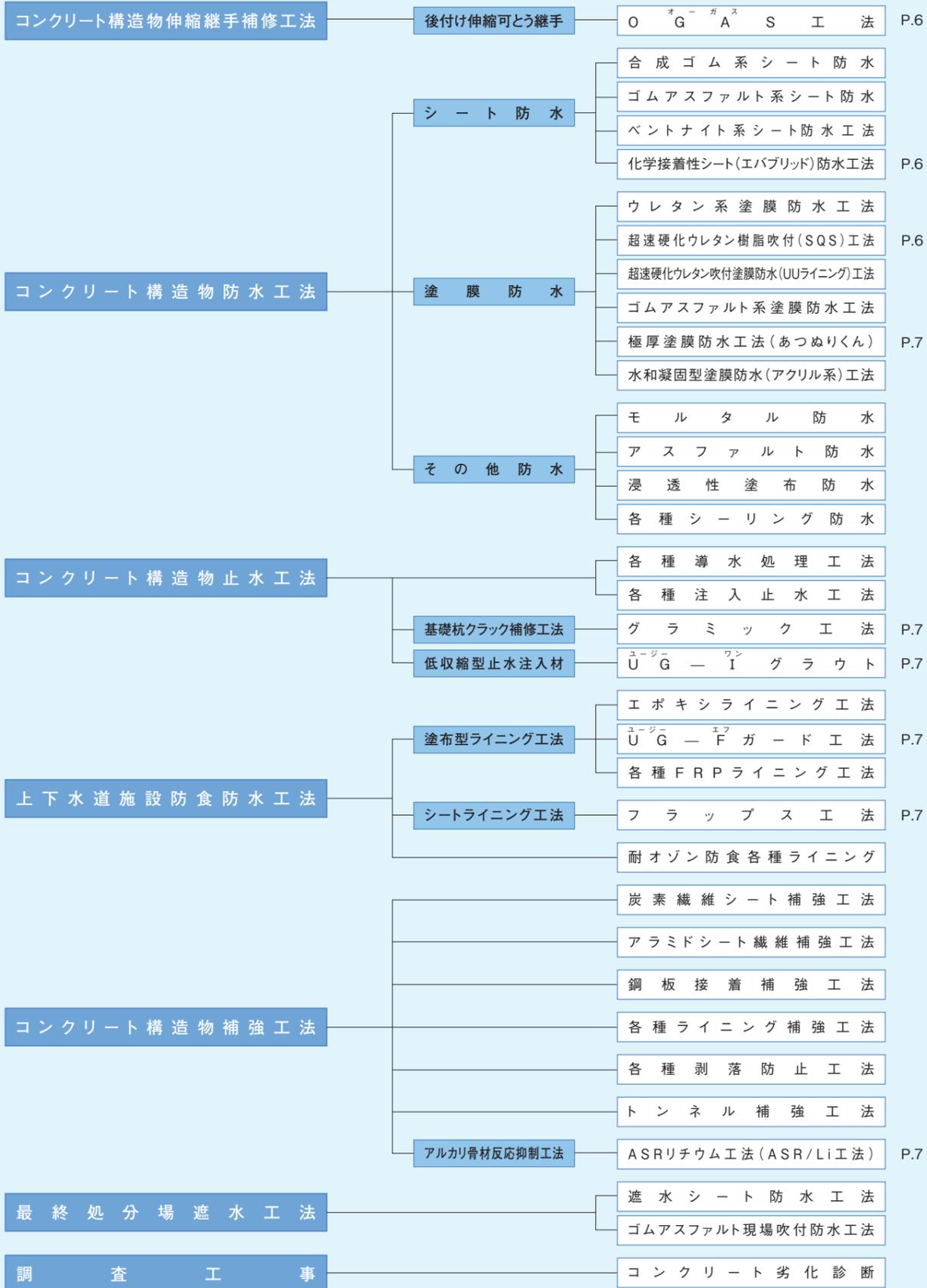
当時からの困難な工事にも真摯に立ち向う姿勢をご評価いただき、事業エリアを関西から全国へ、施工工種も防水に加え地盤改良・のり面保護・パイプリニューアルの各分野へと広がり、現在では防災・耐震・維持管理をはじめ、保有の技術が応用できる関連分野にも裾野を広げつつあります。また、この間私どもの特徴といえる技術開発研究も積極的に推進し、多くの有益な工法を生み出し、現在各分野で幅広くご活用をいただいております。

このような進展を果たすことができたのも、ひとえに永年にわたりご愛顧を賜ってまいりましたお客様はじめ、多くの関係者の皆様のおかげと深く感謝致しております。

私どもはこれからも、実績に培われたプロとしての技術と誇りを大切に、お客様のニーズを的確にとらえ、全力でそれにお応えすることにより、皆様からのさらなる信頼の獲得と社会への貢献を使命として努力を重ねてまいります。今後とも、より一層のご支援ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

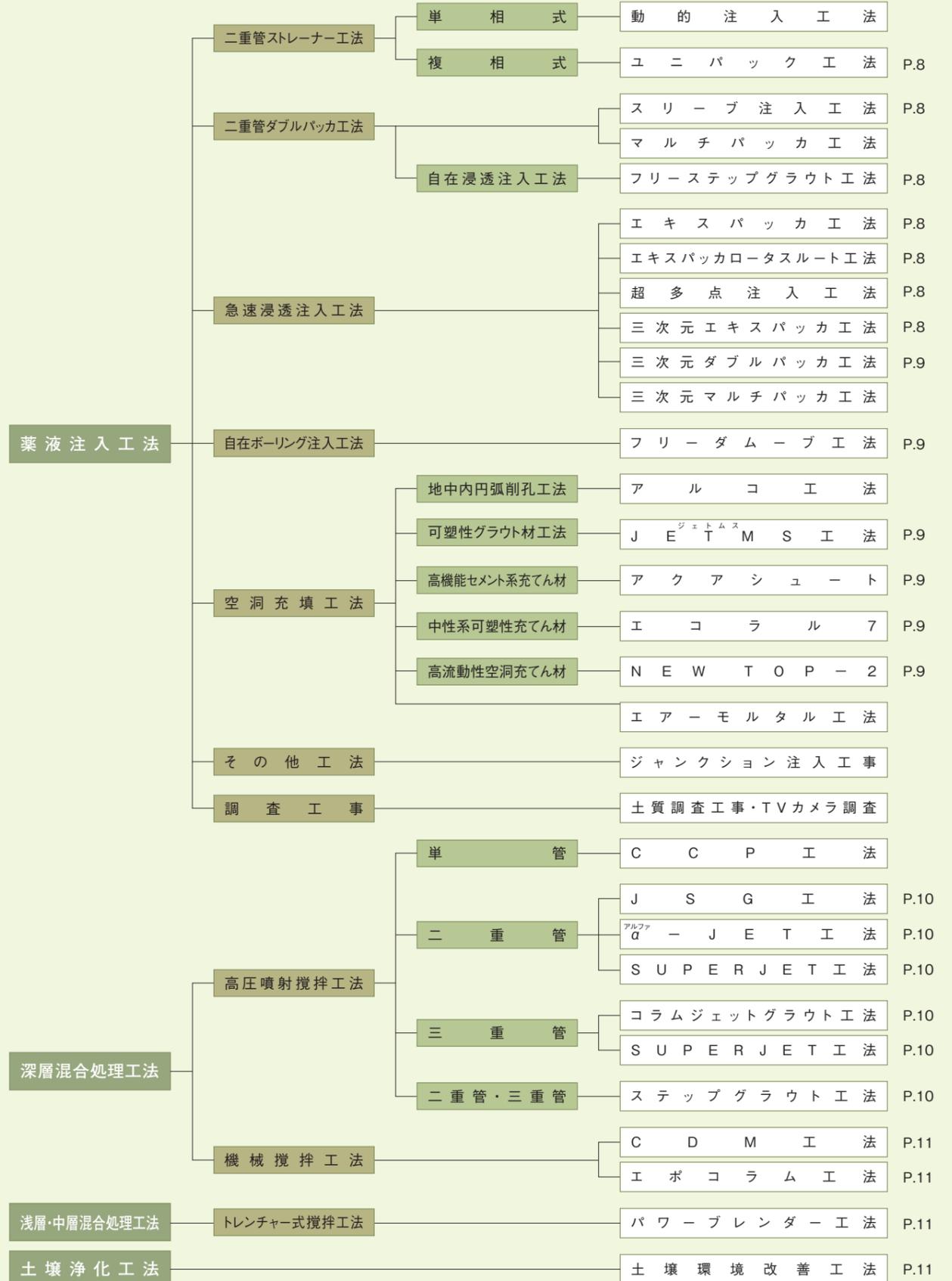
# 防水工事

記載ページ



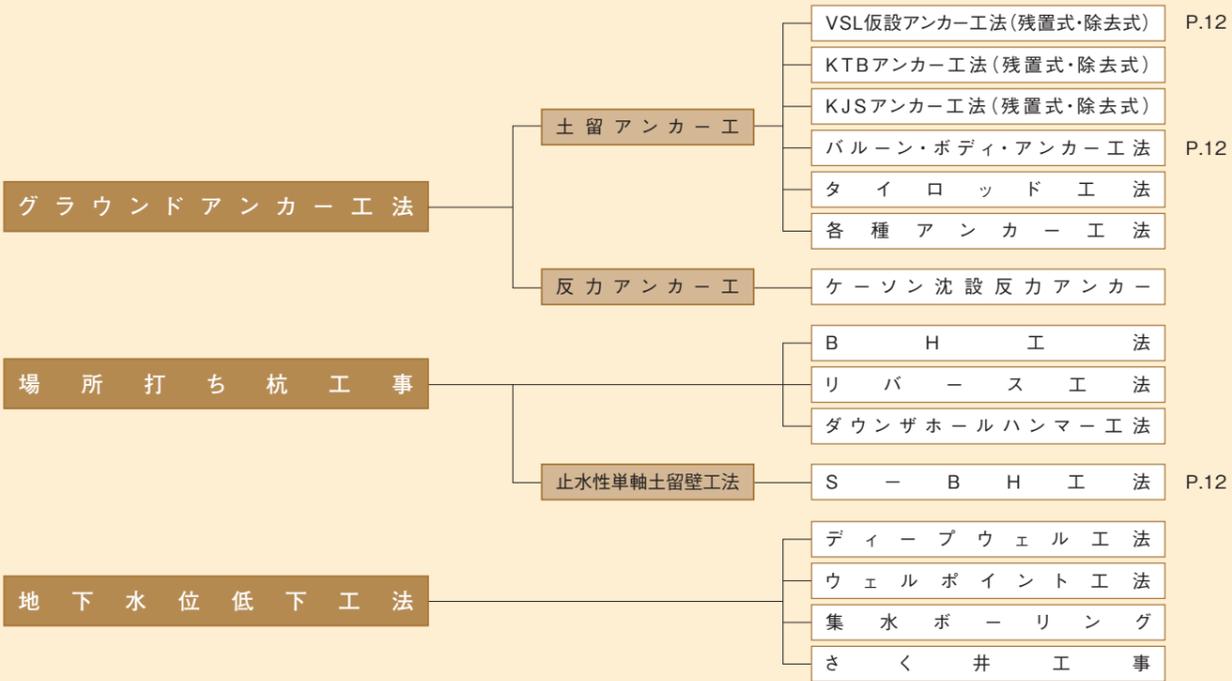
# 地盤改良工事

記載ページ



## 基礎工事

記載ページ



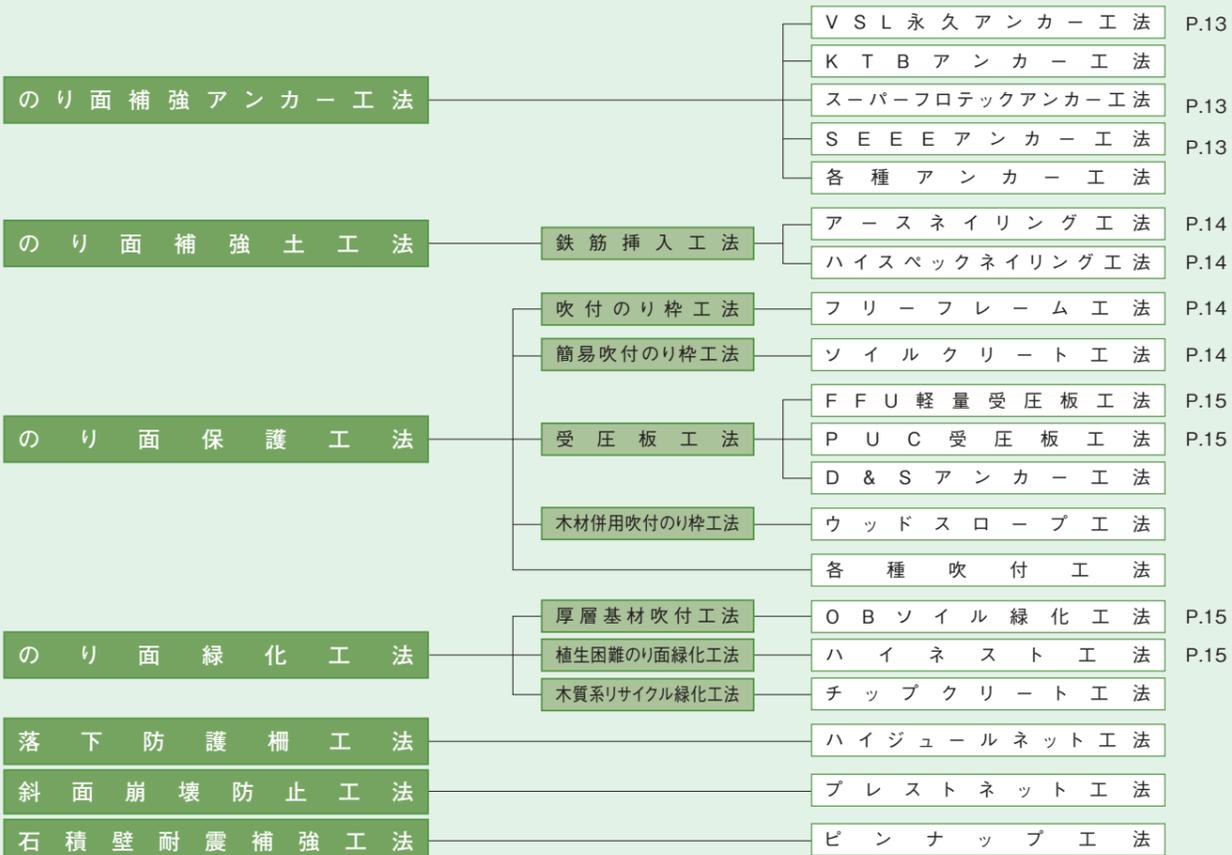
## 推進工事・アンダーパス工事

記載ページ



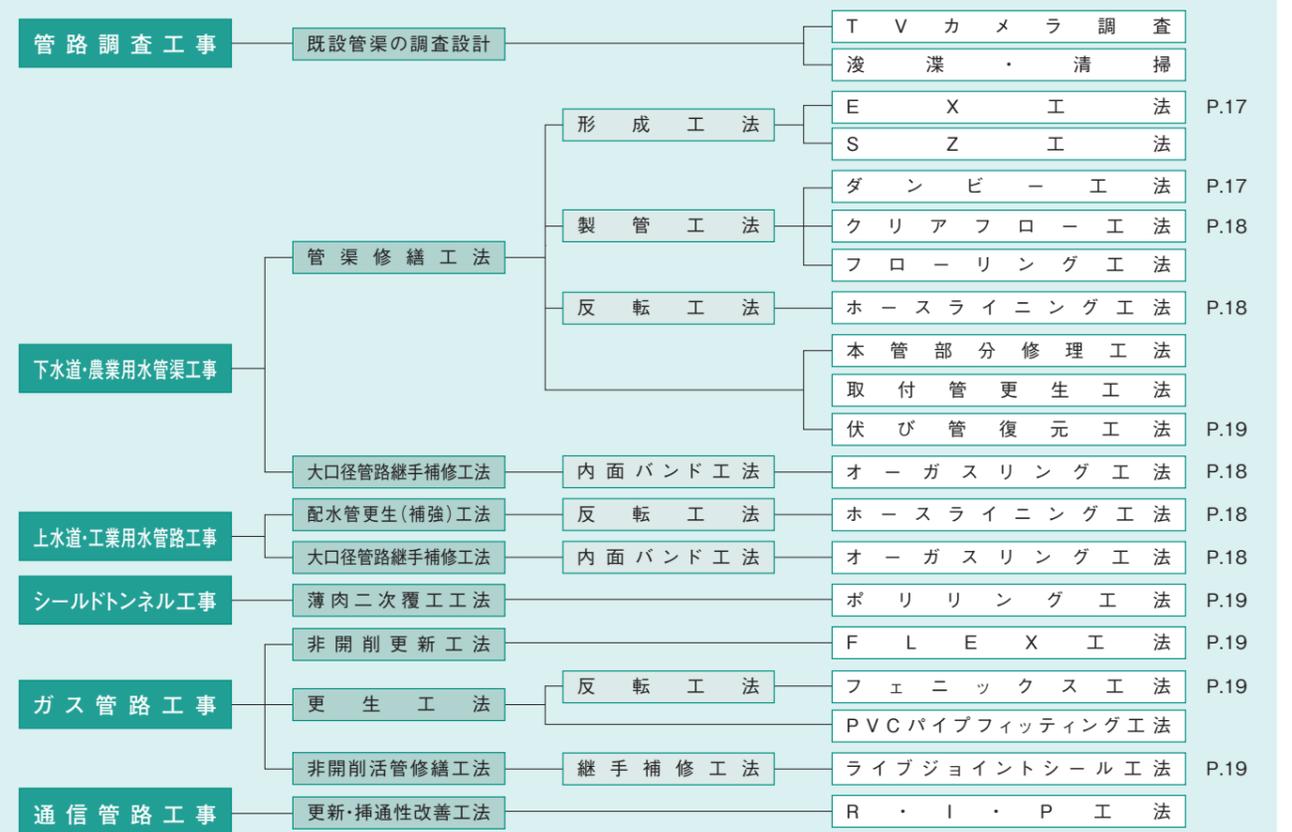
## 斜面安定工事

記載ページ



## パイプメンテナンス工事

記載ページ



# 防水工事

ますます高まる都市構造物における防水の役割  
豊富な経験と実績で確実な工法を提案

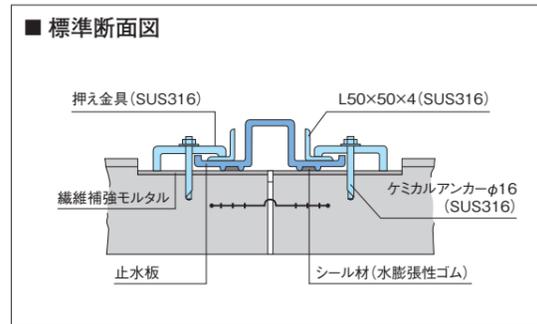
上・下水道をはじめ、地下鉄・地下街や道路・橋梁・トンネルなど、高密度化・複雑化する都市構造物において、防水工事の果たすべき役割はきわめて大きいといえます。豊富な経験と実績から研究開発を重ね、さまざまな技術・工法を開発・提供しています。

## 後付け伸縮可とう継手

### オーガス OGAS工法

OGAS工法は、目地・止水板補修工における後付け伸縮可とう継手工法で、既設目地・止水板には手を加えず、既設目地の上に止水板を圧着し、止水性・耐震性・施工性を改善させる工法です。地震時の変位(100mmまで)にも柔軟に追従し、100mm変位時の耐外水圧試験において0.1Mpaの止水性能を有します。

主用途 上下水道施設、共同溝、その他地下構造物



施工例：配水池天井部・梁部



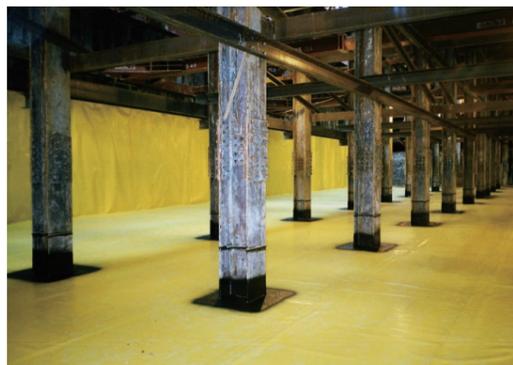
伸び変位量：100mm / 耐外水圧：0.1Mpa



せん断変位量：100mm / 耐外水圧：0.1Mpa

## 化学接着性防水シート

### エバブリッド工法



地下部先防水

エバブリッド工法は、特殊EVA樹脂とコンクリートがイオン力で結合を促進し、高い接着性と優れた防水性を発揮する先防水シート工法です。(財)鉄道総合技術研究所において性能確認されています。

主用途 鉄道、道路、共同溝等の地下防水

## 超速硬化ウレタン樹脂吹付工法

### SQSシステム工法



高欄剥落防止

SQSシステム工法は、コンクリート構造物等の漏水防止や防食に効果的なスプレー工法です。複雑な下地へも追従し、強靱で柔軟な塗膜を瞬時に形成します。

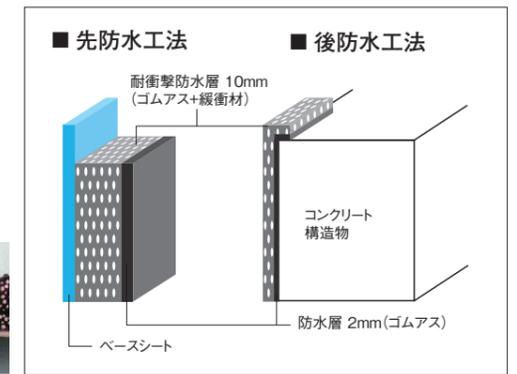
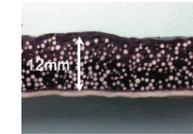
主用途 地下防水、鉄道橋、道路橋下部の剥落防止

## 極厚塗膜防水工法

### 「あつぬりくん」

「あつぬりくん」は、1回の吹付けで10mm超の厚付けが可能で、高い施工性・耐久性を兼ね備えた改質アスファルト塗膜防水工法です。

主用途 地下防水



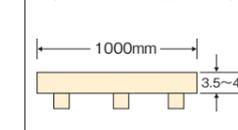
## D2種シートライニング工法

### フラップス工法 建設技術審査証明取得

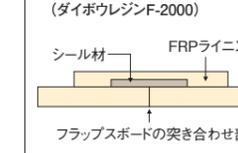
フラップス工法は、ビニルエステル樹脂とガラス繊維を原料としたFRP透明成形板を、エポキシ樹脂によりコンクリート構造物に固着させる、シートライニング工法の後貼り工法です。

主用途 下水道施設の防食

### ■ビニルエステル樹脂板 (フラップスボード 標準タイプ)



### ■目地部処理 (ダイボウレジンF-2000)



## 塗布型ライニング工法

### ユージー エフ UG-Fガード工法 上水用・下水用

JWWA-K-149規格・厚生労働省令第5号及び第15号適合品  
日本下水道事業団品質規格C・D種適合品

UG-Fガード工法は、コンクリート構造物の防食性・防水性・耐薬品性・高強度が得られ、また優れた作業性を併せ持つ塗布型ライニング工法です。



※仕上がり基本色  
上水：ブルー 下水：グレー

主用途 上水道施設  
下水道施設、工場、温泉等特殊排水施設

## アルカリ骨材反応抑制工法

### ASRリチウム工法

ASRリチウム工法は、アルカリ骨材反応(以下、ASR)により劣化したコンクリート構造物内部にASR抑制剤を加圧注入し、構造物内部の劣化による膨張を抑制する工法です。



主用途 道路橋・鉄道橋の橋脚 加圧タンク

## 止水注入材(一液性ポリウレタン低収縮型)

### ユージー ワン UG-Iグラウト

NETIS登録番号 KK-200030-A  
特許取得済

UG-Iグラウトは、一液性ポリウレタン注入材に特殊添加剤を添加することで、硬化後の収縮量を低減した止水注入材で、従来の機材での施工が可能です。

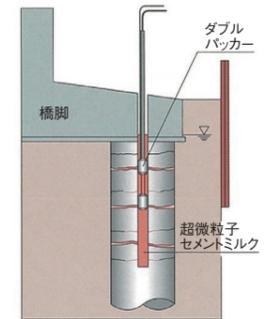


主用途 地下コンクリート構造物

## 基礎杭クラック補修工法

### グラミック工法

グラミック工法は、場所打ち基礎杭のクラック補修技術で、フォーミング上部から杭芯部にボーリング孔をあけ、杭内から補修材を注入し杭鉄筋の耐久性を確保する工法です。



主用途 道路橋・鉄道橋  
その他高架橋橋脚基礎杭

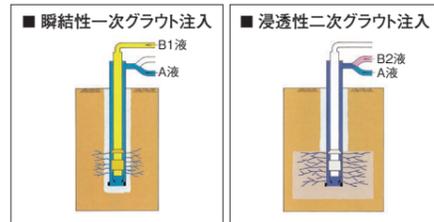
# 地盤改良工事

各種地盤改良工法から土壌浄化工法まで  
高度な技術と幅広い視点で対応

地盤の条件や構造物の種類、施工環境に応じ、各種薬液注入工法や高圧噴射・機械攪拌工法など、多様な工法の中から最適な工法をご提案いたします。さらに、土壌改善に向けたご提案まで、地盤改良に高度な技術と幅広い視点で対応します。

## 二重管ストレナー工法(複相式)

### ユニパック工法



ユニパック工法は、二重管ロッド注入工法の施工の簡便性と高能率性を生かし、二重管ダブルパッカ注入工法の地盤変化への対応性・改良効果の信頼性を併せ持った工法です。

主用途 シールド発進部・到達部防護

## 二重管ダブルパッカ注入工法

### スリーブ注入工法

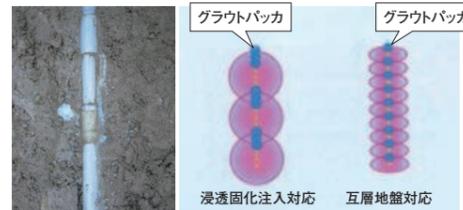


スリーブ注入工法は、削孔と注入を別工程に分け、注入スピードを遅くすることで、地盤への浸透性が良くなり、他工法が適合しない地盤や複雑な互層地盤には特に効果を発揮する工法です。

主用途 重要構造物に対し近接施工する場合

## 二重管ダブルパッカ工法(自在浸透注入工法)

### フリーステップグラウト工法

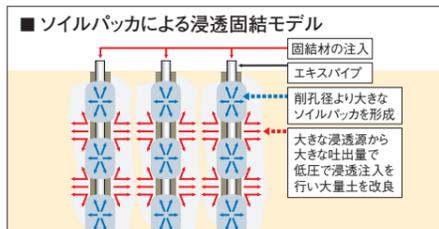


フリーステップグラウト工法は、グラウトパッカのステップと浸透注入のステップを自在に組合せることにより、地盤構成に対応した注入を合理的に施工できる工法です。

主用途 液状化対策、基礎の耐震強化

## 急速浸透注入工法

### エキスパッカ工法



エキスパッカ工法は、削孔径よりも大きなソイルパッカを形成し、上下のソイルパッカ間に大きな柱状浸透源をつくり、削孔間隔を大きくとり大きな吐量・低圧力で浸透注入を行う工法です。

主用途 液状化対策、基礎の耐震強化

## 急速浸透注入工法

### エキスパッカロータスルート工法

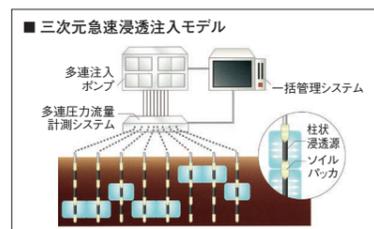


エキスパッカロータスルート工法は、1台のグラウトポンプを分岐ユニットで4系統に分岐し、任意の4ヶ所を同時に注入・一括管理を可能にし、施工効率を高めた工法です。

主用途 液状化対策、基礎の耐震強化

## 急速浸透注入工法

### 三次元エキスパッカ(3D-EX)工法

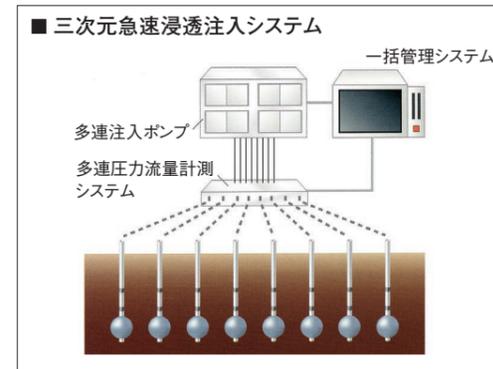


三次元エキスパッカ工法は、従来のエキスパッカ工法に多連注入ポンプと一括管理システムを導入することで、複数個所の注入を同時に施工および管理することを可能にした注入工法です。

主用途 液状化対策、基礎の耐震強化

## 急速浸透注入工法

### 三次元ダブルパッカ(3D-DP)工法



三次元ダブルパッカ工法は、従来のダブルパッカ工法の浸透性・改良効率にすぐれた特長を活かして、多連注入ポンプと一括管理システムを導入することで、同時に8ポイントからの注入を可能にし、施工効率を高めた工法です。

主用途 液状化対策、地盤強化

## 自在ボーリング注入工法

### フリーダムーブ工法



フリーダムーブ工法は、従来の削孔は垂直・斜・水平と直線的削孔方式であったものを、3次元の曲がり削孔を可能にし、構造物直下の施工を効率的に行うことができる工法です。

主用途 構造物直下の液状化対策、汚染土壌対策

## 充てん材

### 高流動性空洞充てん材

#### NEW TOP-2

NEW TOP-2は、優れた流動性を有し、ブリージングが少なく、凝固熱が低い低強度型の充てん材です。

主用途 管路、建造物下部

配管による最長圧送距離(実績)は3,700m(配管勾配による)



### 可塑性グラウト材工法

#### ジェットムス JETMS工法

JETMS工法は、流動性に優れ長距離圧送が可能な、可塑性グラウト材です。

主用途 湧水、溜水、流動水のある箇所への裏込注入



### 中性系可塑性充てん材

#### エコラル7

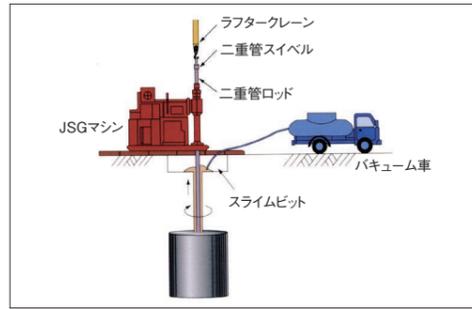
エコラル7は、セメントを使用して「中性領域内強度発現」を実現、可塑性・水中不分離性にも優れた自然環境に優しい充てん材です。

主用途 河川、湖沼護岸の背面空洞・空隙地



## 高圧噴射攪拌工法(二重管工法)

### JSG工法

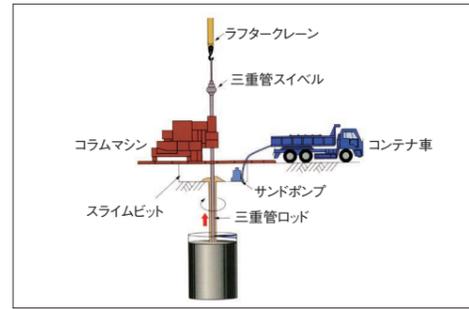


JSG工法は、圧縮空気を伴った超高压硬化材を回転する二重管ロッドから地中で横噴射することで地盤を切削し、地盤に直径1m~2mの円柱状の固化体を造成する工法です。

主用途 シールド発進部・到達部防護

## 高圧噴射攪拌工法(三重管工法)

### コラムジェットグラウト工法



コラムジェットグラウト工法は、三重管ロッドの先端モニターから超高压水と圧縮空気を伴った硬化材を、地中で横噴射させることによって、JSG工法よりさらに高いN値にも安定した造成径が確保できる工法です。

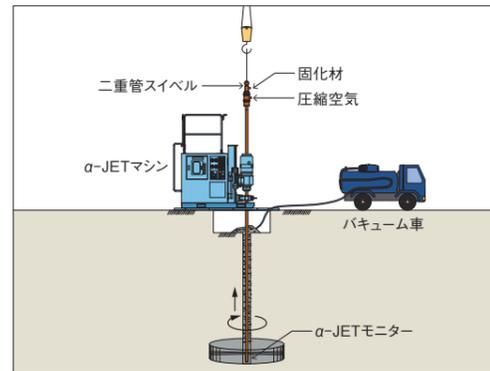
主用途 シールド発進部・到達部防護

## ハイスピード高圧噴射攪拌工法(二重管工法)

### アルファ α-JET工法

α-JET工法は、切削効率が非常に高い特殊ノズルを対向に配置し、従来工法に比べスピーディーに改良体を造成することが可能となり工期短縮が図れます。

主用途 シールド発進部・到達部防護



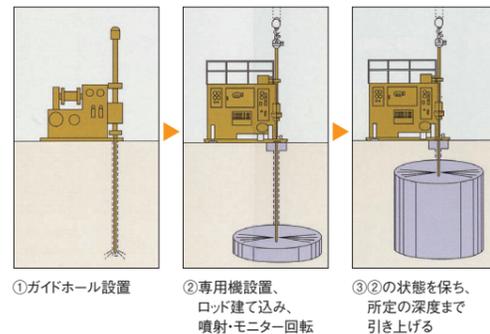
## 超大口径高圧噴射攪拌工法

### SUPERJET工法

SUPERJET工法は、特殊整流装置を内蔵した水平対向ジェットモニターと超高压スラリーポンプを用いて、先端ノズルから超高压・大流量のスラリーを噴射させ、最大径2.5m(SUPERJET25)/最大径3.5m(SUPERJET35)/最大径5.0m(SUPERJET50)の高品質な大型パイプを短時間で造成する工法です。また、軟弱地盤を対象としたSUPERJET60は最大径6.0mの柱状改良体を造成することができます。

主用途 底盤改良、土留欠損部防護

#### ■ 施工手順



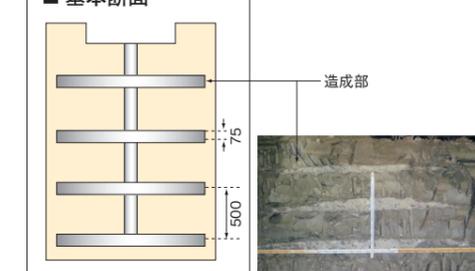
## トラフィカビリティ向上工法

### ステップグラウト工法

ステップグラウト工法は、地中に高圧噴射攪拌工法(二重管・三重管)を断続的にステップ状に造成することにより、経済的にトラフィカビリティを向上させる技術であり、トータルの造成長が短く、材料の使用を抑えられることから、省エネ・省資源タイプの工法です。

主用途 トラフィカビリティの改良

#### ■ 基本断面



## 深層混合処理工法(機械攪拌工法)

### CDM工法

CDM工法は、セメント系スラリーと軟弱地盤とを混合処理機で攪拌混合し、現位置で所定の強度に固化する工法です。工事のスピードアップや構造物の大型化が進む現在、セメント系スラリーの使用で早期に強度が発現し、圧密期間の必要がないCDM工法が、大幅に工期を短縮します。

主用途 構造物基礎



## 深層混合処理工法(機械攪拌工法)

### エポコラム工法

エポコラム工法は、相互に逆回転する三重の複合相対回転翼(エポコラム翼)で、現位置土と固化材を機械攪拌し、均質な円柱状固結体を造成する工法です。攪拌・混練性に優れ、超軟弱粘性土や腐食土・ピート・火山灰層等の特殊地盤の改良も容易に行えます。

主用途 圧密沈下対策等軟弱地盤改良工事



## 浅層・中層混合処理工法

### パワーブレンダー工法

パワーブレンダー工法は、トレンチャー式攪拌混合機を装備した地盤改良機「パワーブレンダー」で、概ね10mまでの互層地盤をスラリー噴射方式で鉛直連続攪拌混合する工法です。地盤改良機はバックホウをベースマシンとしており、傾斜地や狭隘な場所での機動性に優れています。

主用途 構造物基礎



## 土壌浄化工法

### 土壌環境改善工法

土壌汚染対策には、多くの費用と技術と期間を必要とするだけでなく、土地や資産価値も大きく左右することにもなります。豊富な知識と経験と確かな技術を活かし、現場に応じた効果的な対策をトータルにご提案します。

主用途 原位置浄化、封じ込め

#### ■ 原位置浄化(鉄粉BIO注入工法)



#### ■ 原位置浄化(鉄粉BIO高圧噴射工法)



#### ■ 封じ込め(恒久グラウト工法・高圧噴射工法)



# 基礎工事

土留工事・杭工事から地下水位低下工事まであらゆる条件に対応した最適な工法を提案

グラウンドアンカー工法をはじめ、各種杭工事、地下水位低下工法等、山間部や郊外における土留工事から市街地での地盤安定工事まで、あらゆる環境や用途に対応した工法で、地盤の安定と構造物や工事の安全を確保します。

## グラウンドアンカー工法 (ランクB)

### VSL仮設アンカー工法(残置式)



VSL仮設アンカー工法は、PC鋼より線を用いたアンカーテンドンをクサビ方式で定着させるグラウンドアンカー工法です。さまざまな地盤安定工事に採用実績があり施工性・経済性に優れています。

主用途 土留め・山留め工

## グラウンドアンカー工法 (ランクB)

### VSL仮設アンカー(コメット)工法(除去式)



VSL仮設アンカー(コメット)工法は、山留工事の目的を果たした後で、地中障害物となる引張鋼材を迅速かつ容易に撤去できるよう開発された除去式アンカー工法です。機構的には、引張鋼材(アンボンドPC鋼より線)によってアンカー力を拘束具へと伝える圧縮タイプのアンカーです。

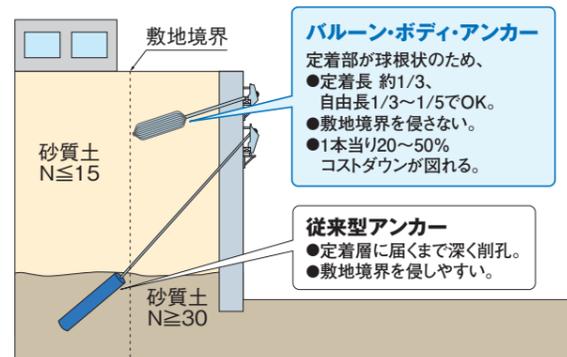
主用途 土留め・山留め工

## グラウンドアンカー工法 (ランクB)

### バルーン・ボディ・アンカー工法

バルーン・ボディ・アンカー工法は、薄い鋼板を折りたたんだ状態の、約10cm角の鋼製チューブを土中に設置し、グラウト材で加圧膨張させテンドンを定着させる工法です。

主用途 敷地境界を侵す場合



## 止水性単軸土留壁工法

### S-BH工法



S-BH工法は、大口径ボーリングマシンを用いて止水壁を構築する工法です。従来のBH工法では不完全であった止水性を、先行杭と後行杭を完全にラップさせることで止水性が確保できる工法です。

主用途 狭隘な場所、空頭制限のある場所

# 斜面安定工事

のり面補強はもとより景観保全にも注力  
安全と環境の両面からアプローチ

のり面の補強・安定化に関わる各種工法はもとより、のり面の保護や緑化による景観保全にも注力。安全と環境の両面からのアプローチにより、豊かで安全な社会と自然環境との調和をめざしています。

## のり面補強アンカー工法 (ランクA)

### VSL永久アンカー工法

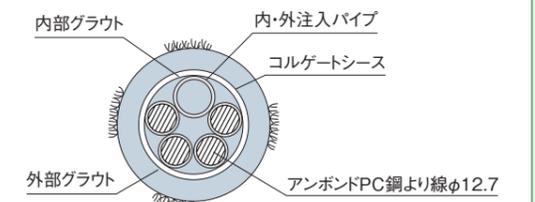


VSL永久アンカー工法は、シンプルな構造で削孔径の細径化を図り、コストの低減・長期の耐久性を追求したアンカー工法です。

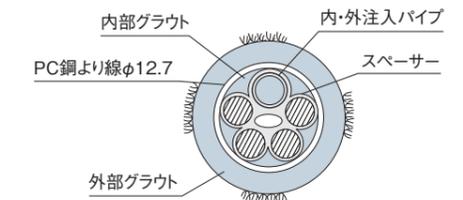
主用途 斜面安定、擁壁補強

#### ■ VSL永久アンカーテンドン(SP型)標準図

##### ● アンカー自由長部



##### ● アンカー拘束長部



## のり面補強アンカー工法 (ランクA)

### スーパーフロテックアンカー工法



スーパーフロテックアンカー工法は、優れた防食層(エポキシ樹脂)で被覆されたPC鋼より線を緊張材(フロボンド)に使用しているため、耐食性能に優れたアンカー工法です。

主用途 斜面安定、腐食環境が厳しい場所

## のり面補強アンカー工法 (ランクA)

### SEEEアンカー工法



SEEEアンカー工法は、シンプルな構造で削孔径の細径化を図り、二重防食加工のテンドンを使用した信頼性の高いアンカー工法です。

主用途 斜面安定、擁壁補強

## のり面補強土工法(鉄筋挿入工法)

### アースネイリング工法

アースネイリング工法は、地山に補強棒(ボルト)を打設一体化させることで補強土壁体を形成し、掘削のり面や自然斜面の安定を図る工法です。

特殊機械を必要とせず、汎用機械で施工できます。また、施工方法も簡便で狭隘な場所や既設長大のり面等の現場に適します。

**主用途** 斜面安定(のり面すべり防止)



ジェットボルト

## のり面補強土工法(鉄筋挿入工法)

### ハイスペックネイリング工法

ハイスペックネイリング工法は、パッカー(袋体)を装着したボルト(芯材)を斜面の土中に挿入した後、パッカーにグラウト材を加圧注入することにより、芯材とパッカーが地山と強力に一体化し、切土のり面や土留め全体の安定を図る工法です。

**主用途** 斜面安定(背面用地が狭隘な場所)



## のり面保護工法

### フリーフレーム工法

フリーフレーム工法は、地山の形状に合わせて自在に変形できる金網型枠(フリーフレーム)を用い、モルタル吹付けによつてのり枠を形成し、のり面の安定を図る工法です。フレキシブルかつ効率的に安定したのり面を造成する工法です。

すべての梁が連続しているため、のり面を面的に安定化させます。また、枠内の植物が繁茂することにより、周辺環境との調和が図れます。

**主用途** のり面保護(急傾斜地)



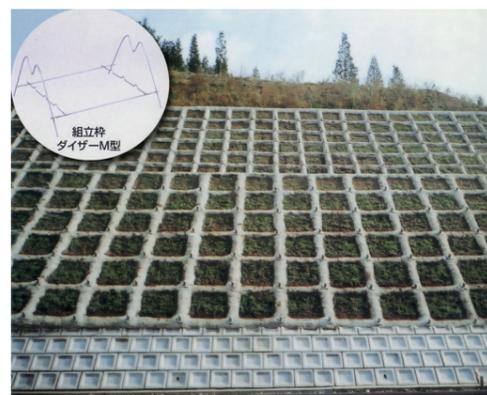
## のり面保護工法

### ソイルクリート工法 ダイザタイプR

ソイルクリート工法は、複雑な型枠に代えて簡易なM字型の組立枠を設置したあとに鉄筋をセットし、モルタルを吹付けてのり枠を形成する工法で、枠内植生基材吹付工との併用工法です。

型枠を使用しないため、吹付時のリバウンドの影響を受けにくく安定した品質ののり枠が形成できます。

**主用途** のり面保護(道路、河川等のり面)



## のり面保護工法

### FFU軽量受圧板工法

FFU軽量受圧板工法は、プラスチック素材を使用した受圧板と、永久アンカー工法との構成でのり面の安定を図る工法です。

軽量で頑丈なため大型機械を必要とせず、安全でスムーズな運搬や施工ができます。また、受圧板が周囲の環境にマッチした美しい景観が得られるように、任意に着色塗装が可能です。

**主用途** のり面保護(狭隘な山地、市街地)



## のり面保護工法

### PUC受圧板工法

PUC(ブック)受圧板工法とは、コーン型プレキャストコンクリート板(PUC受圧板)と各種永久アンカー工法とどぶとん裏込工法の構成で、のり面の安定化を図る工法です。

使用するアンカー工法は限定されず、現場の状況に応じた最適な永久アンカー工法が選択でき、アンカー頭部を落石等による損傷から防護するため、受圧板本体のテーパコーン内に内臓する構造となっています。

**主用途** のり面保護(切土のり面)



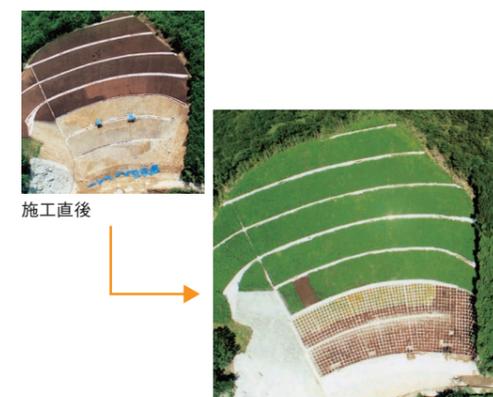
## のり面緑化工法(厚層基材吹付工法)

### OBソイル緑化工法

OBソイル緑化工法は、植生活性剤を混入した有機系人工土壌「OBソイル」をのり面に吹付けるだけで緑豊かに彩るのり面緑化工法です。

自然を出来る限り壊さずに環境を保護する。また壊れてしまった環境の回復を助けていく。これらの環境保全とのり面保護を目的とした工法です。

**主用途** のり面緑化(無土壌のり面)

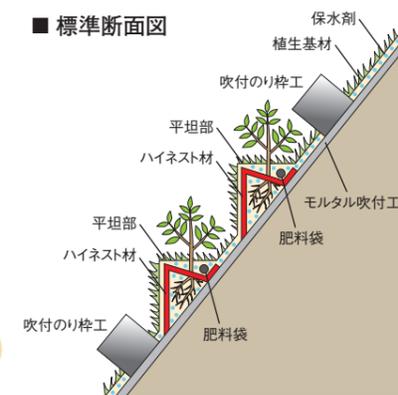


## 植生困難のり面緑化工法

### ハイレフト工法

ハイレフト工法は、50°以上の急勾配のり面やモルタル吹付面など、従来は緑化が困難といわれてきた斜面に、増厚材(ハイレフト材)を設置し持続的な緑化をめざす工法です。

**主用途** のり面緑化(急勾配のり面)



# 推進工事・アンダーパス工事

都市機能に負荷をかけることなく  
非開削で新たな管路を高精度に築造

複雑に交錯するライフラインや多様な地盤条件のもとで、施工に伴うリスクや影響を最小限にとどめ、都市機能に負荷をかけることなく、非開削で新たな管路を高精度に築造する推進工事への需要が高まっています。

## セミシールド工法(泥濃式)

### 超泥水加圧推進工法



超泥水加圧推進工法は、切羽、推進管の外周に超泥水を充満加圧させて、安定した切羽面およびテールボイドを確保して、確実に低推力推進を可能にした推進工法です。

主用途 長距離・急カーブ推進

## セミシールド工法(泥水加圧式推進工法)

### ユニコーン工法



ユニコーン工法は、掘進機のカッターチャンバ内を泥水で満たし、切羽の安定を図る密閉型推進工法です。また、コスミック工法(曲線造形装置・摩擦低減装置・特殊中押装置)等との併用で、長距離・カーブ推進も可能とした工法です。

主用途 長距離・急カーブ推進、玉石、硬岩

## パイプルーフ工法(非回転式圧入工法)

### THパイプルーフ工法



THパイプルーフ工法は、構造物を構築する際の掘削作業を安全確実にを行うため、構造物の外周に沿って鋼管を等間隔にアーチ状または柱列状に打設し連続壁を構築することで、上部構造物や地下埋設物を防護する工法です。

主用途 鉄道線路沈下防護

## アンダーパス工法

### フロンテジャッキング工法



フロンテジャッキング工法は、鉄道及び道路下に非開削で地下構造物を作る(函体を埋設する)施工方法で、到達側の反力体と発進側の函体をPC鋼線で連結し、専用のジャッキ(フロンテジャッキ)を使用して函体を所定位置までけん引(掘進)する工法です。

主用途 鉄道、道路のアンダーパス工事

# パイプメンテナンス工事

既設の上・下水道やガス管路を、非開削で更生  
ライフラインのネットワークを安全かつ確実に再生

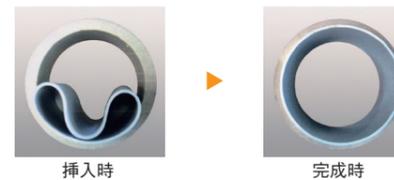
社会生活に重要な影響を与える老朽化した上・下水道やガス管路を、非開削で恒久的に補強・更生し、新管の性能を蘇らせます。豊富な経験と実績に基づき研究開発を重ね、災害時に大切なライフラインを確保するための技術・工法を提供しています。

## 管路更生工法(形成工法)

### EX工法 建設技術審査証明取得

#### ■ 更生管扁平試験結果(JSWAS K-1)

呼び径	平均厚さ (mm)	圧縮量 (mm)	扁平強度 (KN/m)	JSWAS K-1 規格値 (KN/m)
200	6.6	10	4.72	4.28 以上
250	9.0	13	7.15	4.61 以上
300	9.8	15	7.24	5.52 以上
350	12.0	18	9.33	6.17 以上



EX工法は、世界で初めて単一材料の硬質塩ビパイプを、軟化特性を利用して実用化した工法で、高強度・品質安定により、特に耐震性・耐久性・耐薬品性に優れています。

主用途 下水道管路

#### ■ EXパイプ耐震性能



抜き出し試験

曲げ試験

#### ■ 管きよ更生

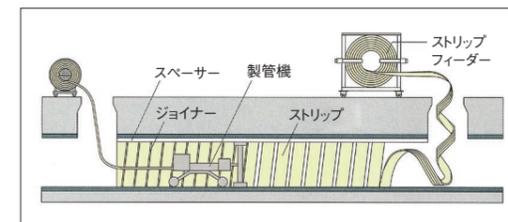


更生前

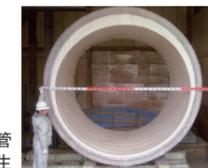
更生後

## 管路更生工法(製管工法)

### ダンビー工法 建設技術審査証明取得



円形管  
φ3000mmの更生



ダンビー工法は、硬質塩化ビニル製の強靱な帯板(ストリップ)を既設管内部にスパイラル状に巻立て、嵌合用部材(ジョイナー)を使い製管し、大口径管渠をスピーディーに蘇らせる工法です。

主用途 大口径下水道管路(円形・矩形・馬蹄形)

#### ■ 管きよの更生



更生前

更生後

#### ■ 馬蹄きよの更生



更生前

更生後

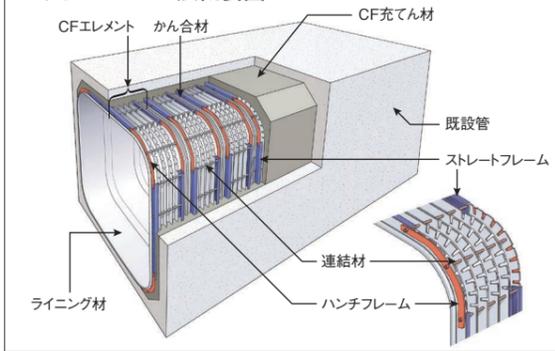
## 管きよ更生工法(製管工法)

### クリアフロー工法 建設技術審査証明取得

クリアフロー工法は、高密度ポリエチレン製のライニング材背面に、補強鋼材を装着した更生材と充てん材により複合管を築造する大口徑管きよ更生工法です。

**主用途** 大口徑管きよ

#### ■ クリアフロー工法概要図



#### ■ 矩形きよの更生



#### ■ 円形管の更生



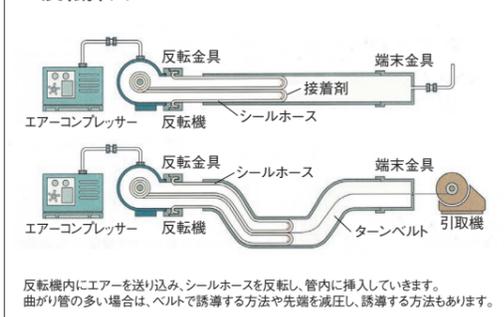
#### ■ 馬てい形きよの更生



## 管路更生工法(反転工法)

### ホースライニング工法 上水道

#### ■ 反転挿入

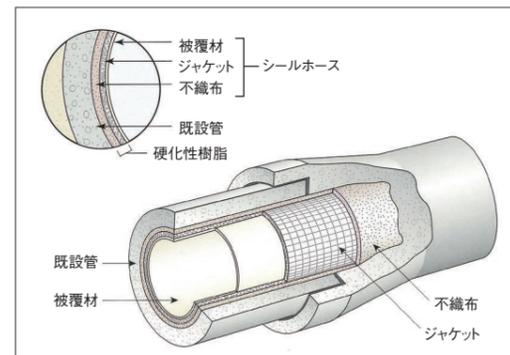


ホースライニング工法は、ポリエステル繊維を環状織機でシームレスな円筒状に製織し、表面をポリエチレン樹脂で被膜したシールホースに硬化性樹脂を含浸させ、既設管内に空気圧で反転挿入し補強・更生する工法です。

**主用途** 対象口径  $\phi 100\text{mm} \sim \phi 1,000\text{mm}$

## 管路更生工法(反転工法)

### ホースライニング工法 下水道・農業用水



ホースライニング工法は、熱硬化性樹脂を含浸させた強靱なシールホースを、既設管内に反転加圧挿入し、管の内面に密着させ新しいパイプを形成する工法です。

**主用途** 対象口径  $\phi 150\text{mm} \sim \phi 1,000\text{mm}$

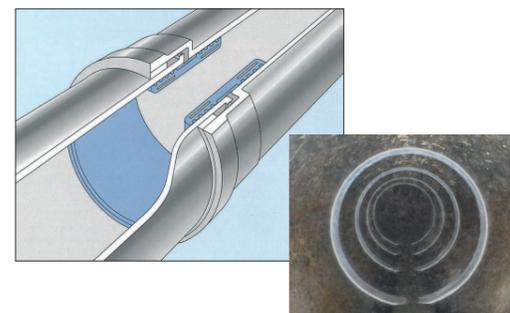
## 大口徑管路継手補修工法(内面バンド工法)

### オーガスリング工法

オーガスリング工法は、大口徑管路継手部からの漏水や漏気を、管路内から止水板を取付けて補修を行う工法です。

施工後は管の挙動にも十分追随し漏水・漏気を防止します。

**主用途** 上水道・工業用水・農業用水管路

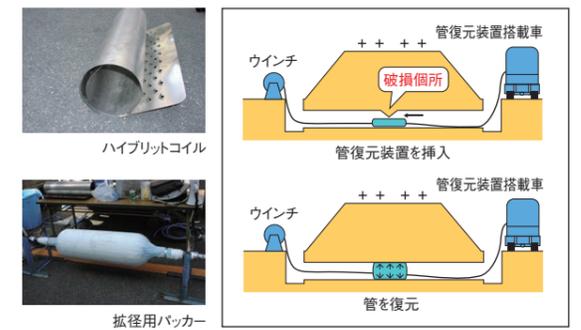


## 管路復元工法

### 伏び管復元工法

伏び管復元工法は、埋設管(伏び管)の破損や陥没箇所に、ハイブリッドコイル(特殊保形鋼板)を装着した拡径用パッカーを挿入し、加圧・拡径して復元する工法です。

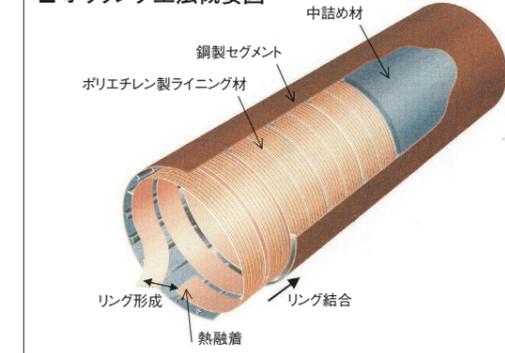
**主用途** ヒューム管、陶管



## シールドトンネルの薄肉二次覆工工法

### ポリリング工法

#### ■ ポリリング工法概要図



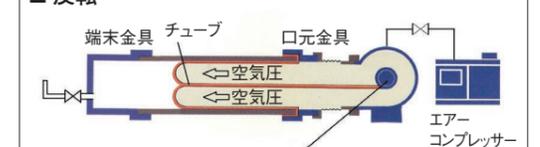
ポリリング工法は、耐久性・耐薬品性に優れた高密度ポリエチレン製の帯状ライニング材を、シールドトンネル内でリング状に成形・連結し、二次覆工材として用いる薄肉二次覆工工法です。

**主用途** 鋼製セグメントの二次覆工

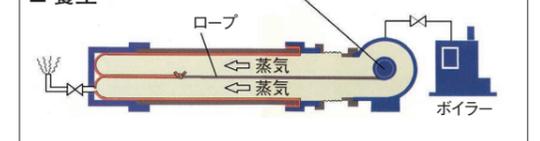
## ガス導管更生修理工法

### フェニックス工法

#### ■ 反転



#### ■ 養生



フェニックス工法は、エポキシ系接着剤を塗布した柔軟性のあるチューブを、ガス導管内に空気圧により反転挿入し、接着剤を加熱硬化させ、管内面に貼り付けてガス管を更生する工法です。

**主用途** ガス導管( $\phi 100\text{mm} \sim \phi 400\text{mm}$ )

## ガス管路更新工法

### FLEX工法



FLEX(フレックス)工法は、老朽化したガス鋼鉄管に現在新設管に使用されているものと同材質のPE管を引き込み、蒸気で加熱・加圧することで筒状に復元し、既設管を更新する工法です。

**主用途** ガス鋼鉄管(100A、150A)

## ガス管路継手補修工法

### ライブジョイントシール工法



ライブジョイントシール工法は、低圧ガス鋼鉄管路の継手からのガス漏えい対策として、活管状態(ガスを通したまま)で継手隙間部分をシールする工法です。(日本ガス協会「技術大賞」受賞)

**主用途** 低圧ガス鋼鉄管

# 幅広いネットワーク体制で、全国各地のお客様のニーズにお応えします。

## 会社概要

**会社名** 株式会社 大阪防水建設社  
**住所** 〒543-0016 大阪市天王寺区顔差町7-6  
 TEL.06-6762-5621(代) FAX.06-6761-9291  
**代表者** 代表取締役社長 宇賀 良太  
**創業年月日** 昭和8年4月10日  
**設立年月日** 昭和25年9月13日  
**資本金** 5,000万円  
**取引銀行** 三菱東京UFJ銀行(玉造支店) 三井住友銀行(玉造支店)  
 みずほ銀行(大阪中央支店) 商工組合中央金庫(船場支店)  
**許可** 土木工事業 とび・土工工事業 管工事業 鉄筋工事業  
 ほ装工事業 塗装工事業 防水工事業 水道施設工事業  
 [国土交通大臣許可(特-3)第265号]  
 許可年月日 令和3年6月10日  
 さく井工事業  
 [国土交通大臣許可(般-3)第265号]  
 許可年月日 令和3年6月10日  
**登録** 建設コンサルタント登録  
 登録年月日 令和元年12月3日  
 登録番号 建01第10206号  
 登録部門 土質及び基礎部門  
**URL** : <https://www.obcc.co.jp/>  
**E-mail** : [info@obcc.co.jp](mailto:info@obcc.co.jp)



本社ビル(本社/大阪支店)

## 沿革

**昭和8年4月** セメント防水工事及び防水材料の製造販売を主業務として大阪市天王寺区に大阪防水建材社を創業。  
**昭和25年9月** 大阪防水建材社から法人組織に改め株式会社大阪防水建設社と改称して設立。  
 大阪市地下鉄建設に伴う防水工事を施工。また、防水工事での実績を生かして上下水道の敷設に伴う軟弱地盤の改良を目的とした注入工事を開始。  
**昭和29年** 名古屋出張所開設。  
**昭和42年** 注入工事の管理の一貫としてその流量と圧力をオシログラフにとり、計測的に管理を行うという新しい方法を開発。  
**昭和45年** 福岡出張所開設。  
 世界初のエポキシ樹脂を使用した管更生工法「エポキシライニング工法」を共同開発。  
**昭和46年** 名古屋出張所を名古屋支店に改称。  
**昭和47年** 宇賀龍雄が会長に就任。代わって宇賀照夫が社長に就き、第2創業期を迎える。  
**昭和48年** 大口径管の継手補修工法「管路継手内面修理工法」を開発。  
**昭和49年** 連続遮水壁を構築する「OBW工法」を開発。地盤改良の特殊な分野を拡げた画期的な工法として各方面から大きな注目を集める。  
**昭和50年** 東京支店開設。  
 福岡出張所を福岡支店に改称。  
 コンクリート構造物の伸縮継手部補修工「OGAS工法」を開発。  
**昭和58年** 反転によってホースを管内に内張するガス導管補修工法「フェニックス工法」を共同開発。  
**平成元年** 本社に大阪支店を併設し、工事・営業部門を移管。  
 上水道・下水道管路更生工事として、画期的な「EX工法」を開発。  
**平成4年** オーストラリア KEMBLA社に「EX工法」を実施許諾。  
**平成5年** 本社新社屋ビル完成。  
 関西国際空港の防水工事、但馬空港の防水及びのり面緑化工事を施工。  
**平成6年** 800mm以上の大口径管更生工法「ダンビー工法」を共同開発。  
 アメリカ MILLER社に「EX工法」を実施許諾。  
**平成7年** 社長宇賀照夫が「黄綬褒章」を受賞。  
 阪神大震災の復旧関連の緊急工事に参加、神戸地区の災害復旧に努める。  
 ベルギー NORDIFA社に「フェニックス工法」を実施許諾。  
**平成8年** 阪神大震災以降、耐震橋脚補強のため様々なコンクリート構造物補修・補強工法を開発。  
 独自開発した注入技術「高被圧水下のスリーブ工法」を駆使し、大阪市の「片福連絡線南森町工区」の注入工事を完工。  
 福岡支店を九州支店に名称変更。  
**平成10年** 宇賀照夫が会長に就任。代わって宇賀大三郎が社長に就任。  
 大阪支店を本社に統合。  
**平成11年** ガス老朽鉄管を掘削せず更新できる「FLEX工法」を共同開発。  
**平成12年** ポリエチレン製の帯状ライニング材を使用する薄肉二次覆工工法「ポリリング工法」を共同開発。  
**平成13年** 宇賀大三郎に代わって、湊健治が社長に就任。  
 非開削活管修繕工法「ライブジョイントシール(LJS)工法」が日本ガス協会より「技術大賞」を受賞。  
**平成15年** 本社において JIS Q 9001:2000 (ISO9001:2000) 認証 取得。  
**平成16年** コンクリート構造物の防水・防食工法「フラップス工法」を開発。  
**平成17年** 湊健治が会長に就任。代わって岩田功が社長に就任。  
**平成20年** 本社に大阪支店を併設し、工事・営業部門を移管。  
**平成22年** 岩田功が会長に就任。代わって宇賀良太が社長に就任。  
**平成24年** 大口径矩形きよの更生工法「クリアフロー工法」を開発。  
 曲がり削孔を3次的に管理する「フリーダムーブ工法」を開発。  
 急速浸透注入工法「エキスパッカロータスルート工法」を開発。  
**平成29年** コンクリート構造物のFRP防水・防食工法「UG-Fガード工法」を開発。  
**令和元年** 止水性単軸土留壁工「S-BH工法」を開発。  
**令和2年** 地盤構成に合わせた改良ができる「フリーステップグラウト工法」を開発。  
 1液型親水性ポリウレタン低収縮型止水材「UG-Iグラウト工法」を開発。  
 有効径2.0m以下に特化した高圧噴射攪拌工法「α-JET工法」を開発。  
**令和4年** 技術開発センターを奈良県平群町に開設。  
**令和5年** 東条工作所を中央創造センター東条に、その他8施設の名称を変更。

## 加入協会一覧

(公社)日本水道協会 (公社)地盤工学会	(公社)日本下水道協会 (公社)日本推進技術協会	(公社)日本下水道管路管理業協会 (公社)九州機械工業振興会	(公社)土木学会
(一社)全国防水工事業協会 (一社)繊維補修補強協会 (一社)日本ジェットグラウト協会 (一社)農業土木事業協会 (一社)カナフレックス工法協会	(一社)STTG工法協会 (一社)レーザー施工研究会 (一社)全国さく井協会 (一社)日本ガス協会 (一社)SQS工法協会	(一社)大阪防水工事業協会 (一社)日本インフラ空間情報技術協会 (一社)日本アンカー協会 (一社)日本管路更生工法品質確保協会 (一社)日本水道工業団体連合会	(一社)国際建造物保全技術協会 (一社)日本グラウト協会 (一社)全国特定法面保護協会 (一社)日本非開削技術協会
防食シートライニング工法協会 コンクリート打継部処理施工研究会 東日本ショウゼット工業会 日本セリノール防水事業協同組合	エアタイト工法協会 SR-CF 工法研究会 近畿コニベシステム工業会 関西塗膜防水工事業協同組合	JERコンクリート補修協会 樹脂ライニング工業会 関西サラセーヌ工業会 全国サンタック防水工事業協同組合	ASRリチウム工法協会 レジテクト工業会 ダイナミックレジン工業会 全国パラテックス防水工事業協同組合
地盤注入開発機構 パワーブレンダー協会 地盤凍結工法協会 CDM工法研究会 CGI工法研究会	日本スリーブ注入協会 エポコラム協会 SUPERJET研究会 Mコラム工法研究会 鉄道ACT研究会	動的注入工法協会 ジェトムス協会 ステップグラウト工法研究会 浸透固化処理工法研究会	CCP協会 ICECRETE協会 α-JET工法研究会 AQUA-MATE Plus工法研究会
KTB協会	KJS協会	VSL協会	バルーン・ボディ協会
THパイプルーフ技術協会 PIT&DRM協会 スーパーマルチモール工法協会	アンダーパス技術協会 デュアルシールド工法協会	超泥水加圧推進協会 九州ユニコーン協会	コスミック工法協会 AH削進工法協会
フリーフレーム協会 RRR工法協会 D&Sアンカー工法研究会	斜面受圧板協会 プレストネット工法協会 アーバンリング工法研究会	簡易吹付法枠協会 ハイジュールネット工法研究会 ピンナップ工法研究会	長繊維緑化協会 フロテックアンカー技術研究会
EX・ダンビー協会 MLR協会 大阪・下水道メンテナンス事業協同組合	バルテム技術協会 RAKUYU-Z工法協会	クリアフロー工法協会 下水道既設管路耐震技術協会	FRP内面補修工法協会 日本スナップロック協会

## 事業所一覧

